

株式会社clover farm



畜産農業・酪農業

clover farmは100年先も日本で酪農が続くための取り組みを模索し取り組み続けます。一次産業は地域資源を活用して食料を生産する事こそ本質的に意味のある取組みと考え、酪農があるから地域課題の解決につながるものもあると思います。実例として、カット野菜工場から出る残渣やビール粕や酒粕など、産業廃棄物を牛に与えて牛乳や牛肉として再び食卓へ届けることを実行しています。今後は地域で飼料生産も行っていきます。

<p>【目標】 牛乳を生産するうえで不可欠な乳牛のエサを地域資源でまかなう。</p>	 
<p>【主な取り組み】 家畜に与える飼料を国産の飼料に置き換える事を目標にするだけでなく、地域で出る食品残渣や加工品残渣などの産業廃棄物を飼料として活用し（エコフィード）、地域の廃棄物を減らし食料を生産することを目指す。これにより生ごみの焼却処分を減らし、飼料の輸入を減らしサプライチェーンの短縮を実現させる。</p>	
<p>【目標】 地域の農家と連携し、資源循環型の農業地帯を作り上げる。</p>	 
<p>【主な取り組み】 農地を水田としてだけではなく、飼料生産や野菜の生産などを地域農家間で連携し、食料生産を行う事で、農地を農地として再生産可能な方法を実行する。堆肥の活用、作物の輪作体系化など肥料や農薬の低減を目指す。</p>	
<p>【目標】 100年先も酪農を続けることを意識して取り組むために事業継承を意識した人材育成や農村の本質的な発展を目指す。</p>	 
<p>【主な取り組み】 畜産クラスターにより、畜産だけではなく地域農業全体が連携し、高岡市の農業の継続的な発展のため、米だけではない高岡の農業の発展を目指していく。</p>	

高岡を持続可能なまちにするために

高岡市民のニーズに合わせた、

米だけではない食料生産を地域と協力して実行していきます。

高岡市の市街地を取り囲むように農振地が広がる高岡の構造を活かし、

今よりもっと多様な農産物を生産し供給できる高岡のための農業を実行し、

より豊かな食を提供し高岡の魅力向上に貢献したいと思います。